

| | | | | | |
|------|---------------------|-----------|---|--------|-----|
| 講義名 | 自己発見とキャリア開発 A (K29) | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 岡村 俊一郎 | 開講期・曜日・時限 | 前期 木曜日 1時限 / 前期 木曜日 2時限 / 前期 金曜日 1時限 / 前期 金曜日 2時限 | | |
| | | 単位数 | 8 | 履修開始年次 | 1年生 |
| | | | ナンバリング・コード | FYE100 | |

主題と概要

自己発見とキャリア開発(自己キャリア)は、本学が掲げる「夢の種プロジェクト」では、「探す」に位置する。そして、夢の種を「探す」ための基幹科目が自己キャリアである。自己キャリアは「自己キャリアA:前期4コマ8単位」「自己キャリアB:後期1コマ2単位」で展開される。(1単位あたりの学修時間は45時間と大学設置基準で規定されている。)本授業は前者である。科目名にある通り、自らのアイデンティティに気づく(自己発見)、今後の学びや将来自分らしく自立して生きていくために基盤となる能力を育成・獲得する(キャリア開発)ことを目的とする。この目的を達成するために、以下の目標を設定し、目標達成の状況を適宜評価し、基準を満たした者に対して単位を認定する。

到達目標

建学の目的に基づき、流通科学大学は「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成することが教育目標である。この目標に対して、卒業認定・学位授与の方針(DP:ディプロマポリシー)として、卒業時に身につけておくべき資質・能力を示している。DPと関連させ、育成したい力を設定した。また、学生が育成したい力の獲得度を自ら評価できるようルーブリックを別紙の通り作成した。このルーブリックに基づき、適宜授業内でその達成度を評価する。自己キャリアは、4期間の学修を行うための基礎・基本を身につける基幹科目である。よって、この授業を通して、全員が自力でゴリ(育成したい力)Lv.2以上の達成を目指す。

提出課題

毎授業ポートフォリオを作成し授業の振り返りを行う。また、各プログラムにおいて個人で、グループで作成した成果物を提出する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

ポートフォリオを教員とやりとりすることで適宜フィードバックを行う。また、各種成果物を作成する過程で教員と対話し、適宜フィードバックを受けながらより良い成果物の作成を目指す。

評価の基準

- ・ポートフォリオ 30%
- ・コミュニケーションキャンプ成果物 10%
- ・異文化理解プログラム成果物 10%
- ・ISプログラム(知覚む)成果物 15%
- ・学期研究プログラム成果物 5%
- ・職業研究プログラム成果物 15%
- ・国際交流プログラムの成果物 5%
- ・自己キャリアAまでの発表の様子と発表資料 5%
- ・ライズドリル(読解スキル(日本人学生)or日本語能力(留学生)、情報リテラシー) 10%

履修にあたっての注意・助言他

本授業は必修科目である。全60コマのうち4分の1(15コマ)欠席すると単位認定しない。PCまたはタブレットが必須である。毎授業持参すること。

| | | | | | |
|------|---------|--|--|--|--|
| 教科書 | .使用しない。 | | | | |
| 参考図書 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

その他

資料は適宜、紙またはデータで配布する。

授業計画

授業計画と予習・授業準備、復習・振り返りについては別紙添付資料を参照。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア:PBL(課題解決型学習) | イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| ウ:ディスカッション、ディベート | エ:グループワーク |
| オ:プレゼンテーション | カ:実習、フィールドワーク |
| キ:その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業では全てのDPの基礎となる能力の育成を目指す。特に、建学の理念と関連する「ネアカのびのびへこたれず」の精神をもった人材の育成に向け、様々な活動や経験を通して、社会に出て必要な能力の育成を目指す。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考